

# 令和4年度全国学力学習状況調査の結果

京都市立太秦中学校

4月19日に、本校3年生193名（受験者182名）を対象に実施された「全国学力学習状況調査」についての結果分析を御報告します。本調査は国語・数学・理科の3教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

## 総合結果（国語・数学・理科）

令和4年度は【国語】【数学】【理科】の調査が実施されました。国語は、京都府平均正答率及び、全国平均正答率を上回る結果でした。数学と理科では、京都府平均正答率及び、全国平均正答率を下回る結果でした。それぞれの教科で見られた課題等を中心に、以下に述べていきます。

### 国語科

本調査から「読むこと」の領域が本校の課題の一つであることがわかりました。一方、その他の5つの領域は比較的良好な結果となりました。特に「知識・技能」の問題に関しては、どの問題も理解が進んでいることが示されました。これは、授業や宿題の中で、文法や漢字などの言語事項の反復練習を丁寧に行なっている成果だと考えています。

課題の「読むこと」では「思考・判断・表現」分野の「読むこと」の問題です。「場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える」問題の正答率が低かったです。普段の授業から、描写をもとに文章を正確に読み取る練習を繰り返し行なうことを実行して、適切に読み取りができるようになります。

苦手としている部分は時間を確保して取り組み、得意な部分は継続して伸ばしていくように普段の授業を大切に心がけていきましょう。



### 数学科

本調査から、特に「数と式」の領域に課題が見られました。この「数と式」は対策が立てやすく、この領域を改善するために必要なことは「途中式」です。1年生の頃と比べると途中式を書く生徒が多くはなってきているのですが、まだまだ省略し簡単な間違をしてしまう人もいます。より一層力をつけていくためにも、丁寧に途中式を書くようにして、思考を表現できる癖をつけてはどうでしょうか。

課題となった問題の一つに

「差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成させる」というものがありました。授業をしている中で、文字を用いて問題を解くことができる生徒は多いと考えていますが、説明を書き上げることが苦手なようです。途中式と同様に、丁寧に書く練習をしていきましょう。



## 理科

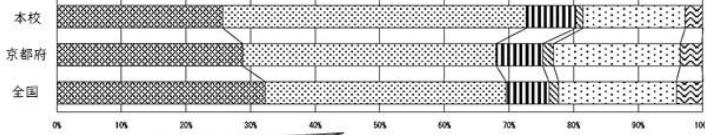
本調査から、特に「粒子」を柱とする領域では、化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかを見る問題や、「地球」を柱とする領域では、飛行機雲の残り方を科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できるかどうかを見る問題について課題が見られました。授業において、実験の考察やふりかえりはしっかりと行えています。これらを問題として問われたときにも発揮できるようになります。



### 生徒質問紙調査から

Q 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家人と約束したことを守っていますか。

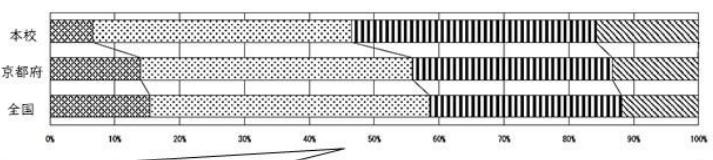
1. きちんと守っている  
2. だいたい守っている  
3. あまり守っていない  
4. 守っていない  
5. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない  
6. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない  
その他  
無回答



「きちんと守っている」生徒の割合は25%強、また「あまり守っていない」「守っていない」生徒も10%近くいて、使い方についての学習や呼びかけが必要だと感じます。

Q 家で計画を立てて勉強していますか。(学校の授業の予習や復習を含む)。

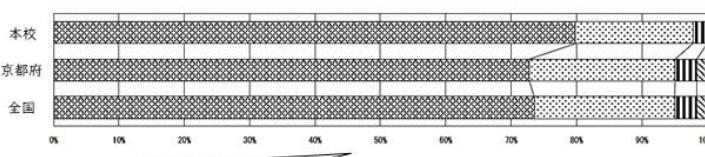
1. よくしている  
2. ときどきしている  
3. あまりしていない  
4. 全くしていない  
5. その他  
6. 無回答



「よくしている」生徒の割合は10%に満たないなど、家庭学習に手立てや内容について考えていくことが大切です。

Q 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

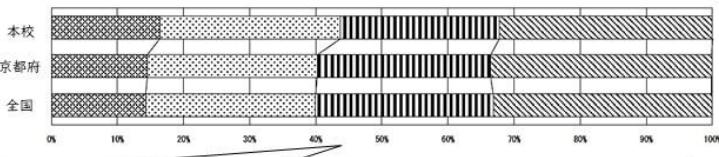
1. 当てはまる  
2. どちらかといえば、当てはまる  
3. どちらかといえば、当てはまらない  
4. 当てはまらない  
5. その他  
6. 無回答



「当てはまらない」と答えている生徒はいません。また、「当てはまる」生徒の割合は80%近くいて、この項目に対する意識が高さが見られます。

Q 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

1. 当てはまる  
2. どちらかといえば、当てはまる  
3. どちらかといえば、当てはまらない  
4. 当てはまらない  
5. その他  
6. 無回答



「当てはまる」生徒の割合は15%強、「どちらかといえばあてはまる」を合わせても40%強です。しかし、休日は部活動等もある中で、休日の地域行事には参加意識があり、地域への関心は高いと考えています。

### 保護者の皆様へ

全国学力学習状況調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今回の本校の結果には、ご家庭での子どもに対する積極的な関りや指導・支援の成果が表れています。引き続き、子どもたちの健やかな育ちと環境づくりにご協力をお願いいたします。